

お伊勢参り&名城を巡る旅報告

【山行日】2021年 4月 15~17日(木~土)

【集 合】岩舟支所P AM 3:45

【費 用】マイカー1台 : 26,200円

【メンバー】CL:鈴木 SL大西

島田、関、福田、松葉、渡辺

15日 晴れ 岩舟支所を出発し、二見興玉神社から外宮、内宮、金剛證寺を参拝する。

岩舟支所P3:45=二見興玉神社 10:10/10:40=外宮

10:50/11:50=内宮 11:50/13:50=金剛證寺

14:20/15:20=ルートイン松坂駅東 16:00

去年の4月に計画したがコロナの緊急事態宣言により中止を余儀なくされ、リベンジで計画した。

高速道の深夜割引を受けるため、4時前に佐野藤岡 IC に入り伊勢神宮を目指す。今回はテレビ番組で見た、伊勢神宮正式参拝順路にのっとり、二見興玉神社から巡ることにした。伊勢 IC で降りてそのまま直進し伊勢二見鳥羽ラインを進み、二見 JCT で降りて二見興玉神社に一番近い駐車場に車を止める。



潮風を受けながら海岸に沿った参道を歩いて行くと、夫婦円満の象徴「夫婦岩」が見えてくる。天の岩屋へおまいりし、手水舎で手を清めてから本殿を参拝する。御祭神に猿田彦大神を祀り、縁結びや夫婦円満、交通安全などにご利益があるとされている。参拝を済ませたら駐車場に戻り、車に乗って外宮に向かった。外宮駐車場に車を止め、堀川に架かる表参道火除橋を渡り手水舎で心身を清める。そこから神域の奥へと進み、広い表参道を通って正宮を参拝する。御祭神は豊受大御神を祀り、衣食住・産業の守護神である。唯一神明造りの正殿は高床式倉庫から発展したと言

われ、日本古来の建築様式を今に伝える。

次に、外宮にある別宮第一位とされる「多賀宮」を参拝し、川の守り神「土宮」、風の上神を祀る「風宮」、檜造りの「神楽殿」を参拝し駐車場に戻り内宮へと向かう。市営駐車場に車を止め、土産店や飲食店が立ち並ぶおはらい町通りを歩いて内宮に向かう。

途中のおかげ横丁は、土産店や茶屋、蕎麦屋等が密集し、この界隈で一番のにぎわいを見せていた。

買い物は後にしてまずは腹ごしらえと飲食店を探し、「てこね茶屋」で名物のもてこね寿司や伊勢うどんをいただく。腹ごしらえが済んだら、今回の旅のメインスポット内宮を参拝する。神域へと迎え入れる宇治橋大鳥居をくぐり、日常の世界から神様の世界への架け橋「宇治橋」を渡ると、神聖な場所に近づいて行くという実感が湧いてくる。四季折々の美しさを見せる神様の庭「神苑」を抜け、五十鈴川の畔の御手洗場で心身を清める。

御手洗場近くに祀られる五十鈴川の神「瀧祭神」を参拝し正宮へと向かう。四重の垣に囲まれた中心にある神明造りの正殿は、日本の八百万の神の中心にあり、皇室の祖神の天照大御神が鎮まる。内宮の核であり平安末期から現代まで続く、伊勢信仰の中心である。

皆さん神妙な顔で参拝していたが、何を願っていたかは分からない。



正宮から稲の貯蔵庫「御稲御倉」、内宮の第一別宮「荒祭宮」等、すべての別宮を参拝し宇治橋を渡り



日常の世界に戻った。帰りはおはらい町通りを買い物しながらのんびり歩き、焼きたてのどら焼きを頼張りながら、それぞれ好きな物を買って駐車場に戻る。ここから伊勢神宮の鬼門を守る名刹、朝熊岳金剛證寺へ向かった。駐車場からすぐ近くの伊勢志摩スカイラインへ入り、朝熊ヶ岳直下に建つ金剛證寺駐車場に車を止める。朝熊岳金剛證寺は「お伊勢参りに朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参宮」と伊勢音頭にも歌われ、伊勢神宮参詣者は必ず訪れたという。伊勢神宮の奥ノ院と言われるだけあって、荘厳な造りの古刹である。参詣が済んだら車に戻り、朝熊山頂展望台に移動する。広い駐車場に車を止め、山頂展望

台から伊勢湾の絶景が望める。一周して伊勢湾の絶景を楽しみ、周囲の山々の新緑も美しかった。展望を楽しんだら車に戻り、今宵の宿ルートイン松坂駅東を目指す。1時間足らずでルートインに着き、チェックインを済ませて各自部屋に落ち着く。入浴して17時30分にロビーに集合し、夕食を食べに行く。もちろん松坂に来たら松坂牛を堪能したい。最高級和牛をリーズナブルに味わいたいと選んだ店が、地元でも人気の焼き肉店の「一升びん」。ルートインから徒歩数分で行け、セットメニューをオーダーし色々な部位を楽しめる。分厚くカットされたジューシーな肉を、お手頃な料金で味わえて皆さん大満足。焼肉を堪能したらルートインへ戻り、明日に備えて早めに就寝する。



16日 曇り時々雨 岐阜城をロープウェイで登り天守閣と資料館等見学し、国宝犬山城も天守閣に登り、名古屋城は天守閣は登れなかったが絢爛豪華な本丸御殿を見学し宿に宿泊する。

ルートイン 8:00=岐阜城 10:00/11:20=犬山城 13:10/14:05=名古屋城 14:30/16:20=くれたけイン久屋大通り 16:35

ルートインホテルの良い所は、6時30分から朝食バイキングがいただけることだ。朝早くから行動する



我々にとって、早い時間に朝食がいただけるのはありがたい。5分前に部屋を出てレストランへ行くと、皆さんすでに料理を取りはじめていた。好みのお惣菜をトレーに載せて、ご飯とみそ汁を取って席に着く。温かい朝食をお腹いっぱい食べられて、大きな浴場で入浴でき6800円で宿泊できるのはリーズナブル。皆さんお腹いっぱい好きな物を食べ、飲み物もお代わりして御馳走様。8時30分にルートインを出発し、今日最初のお城「岐阜城」に向かった。天気予報では昼ころから雨の予報だったが、朝から小雨が降っている。岐阜城の駐車場に着いても小雨は止まず、予

定ではロープウェイで岐阜城に登り下りは馬ノ背登山道を歩いて下る予定だった。雨が降っているのでロープウェイの往復券を購入する。山頂駅から天下第一の門をぐり、岐阜城に向かって登って行く。二の丸門から見る岐阜城は素晴らしく、このように険しい山上に立派な天守閣を良く築けたものだと感心する。天守に登り最上階からの眺望は、東に恵那山から御嶽山、北には乗鞍岳から日本アルプスが望めるとされているが、あいにくの雨模様で眺望は得られなかった。

それでも城好きの我輩には、岐阜城に登れたことだけで大満足である。

下りは岐阜城資料館や軍用井戸など見ながら下り、山頂駅からロープウェイで山麓駅まで下る。周辺一帯は岐阜公園として整備されており、三重塔や織田



信長公居館跡等を見学しながら駐車場へ戻り、ここから次の城「国宝犬山城」へ向かった。途中で昼食を食べることにして食事処を探すが、なかなか見つからない。ようやく見つけたが通り過ぎ、大きく回り込んで戻る途中に美味しそうな店を見つけた。ここが大当たりで名物の味噌カツが絶品の食堂だった。美味しいランチを食べ、皆さんニコニコ顔で犬山城駐車場に着く。昼ころから雨も上がり、傘を差さずに天守閣までの坂道を登って行く。国宝犬山城は現存する日本最古の天守閣と言われ、木曾川沿いの高台に建つ名城である。

高さ19mと小振りな天守閣だが、高台に建つため天守からの眺めは素晴らしい。皆さん城主になった気分で、天守からの眺望を満喫した。帰り道に赤い鳥居が並ぶ三光稲荷神社に寄り、ハートの絵馬を見て駐車場に戻る。ここから本日最後のお城、名古屋城に向かう。名古屋の中心街に入ると道路の

広さに、運転手はビビりまくっていた。ようやく名古屋城正門前の駐車場に車を止め、立派な正門をくぐり場内へ入って行く。名古屋城は大阪城の豊臣氏に対する備えとして、1612年に徳川家康が天下統一の最後の布石として築いた城である。尾張初代藩主・徳川義直の入城以降、御三家筆頭である尾張徳川家の居城として栄えた。五層の巨大な天守閣は立派で、名古屋人のシンボルとして圧倒的な存在感で聳えていた。2018年5月から耐震性が低いことに対応し、金のシャチホコが降ろされて天守閣と小天守閣は入場禁止になっている。その代り2018年6月に本丸御殿復元工事が完了し、すべての部屋が公開されている。



名古屋城本丸御殿とは、尾張藩主の住居かつ藩の政庁として1615年徳川家康の命によって建てられた。本丸御殿は日本を代表する近世書院造の建造物である。これらをじっくり時間を掛けて見学し、本日のお城めぐりが終了した。ここから本日の宿くれたけインホテルまでは、車で5分も掛からない距離である。ホテル隣のコインパーキングに車を止め、ホテルへチェックイン。名古屋市の中心部に有るので、便利な宿である。部屋で休んだら17時30分にロビーに集合し、夕食を食べに街中へ繰り出す。



今日は名古屋名物のひつまぶしを食べる予定で、15分程歩き大きなショッピングビル「LACHIC」の名古屋備長ラシック店に向かう。久屋大通りを歩いて行くが、名古屋市の中心部だけあり大都会である。予約を入れてあったので、直ぐにテーブルに案内される。コロナのご時世で3人ずつのテーブルに分かれ、すぐに出て来たひつまぶしを美味しくいただいた。1杯で3通りの味わいを楽しめ、皆さん美味しいと完食した。お酒をいただき酔った我輩にはきつい歩きだったが、無事ホテルに戻りレストランに有るウエルカムドリンクを一人でいただいた。皆さんは部屋に戻り、入浴してから就寝したようである。

17日 雨 小雨の中、熱田神宮を参拝し、岡崎SAで買い物後焼津さかなセンターの極上マグロ丼を堪能後お土産を買って岩舟船支所へ帰着

くれたけイン 8:00＝熱田神宮 8:30/9:30＝岡崎SA10:00/10:20＝焼津さかなセンター11:35/12:35＝岩舟支所P16:00

本日は熱田神宮と豊川稲荷の2社を廻り、焼津さかなセンターで昼食と買い物の予定であるが朝から雨が降っている。ホテルの朝食バイキングを美味しくいただき、雨の中熱田神宮へと向かった。



ホテルから30分程走ると、熱田神宮の駐車場に着く。熱田神宮は、古来より伊勢神宮に次ぐ尊いお宮として崇敬を集める由緒ある神社である。6万坪の広大な神域を有し、刀剣や日本書記等の国宝・重要文化財をはじめとする6000点を宝物殿に収蔵する。南の正門から本宮へと続く参道は、クスノキなどの大木が造る緑のトンネルの中を歩き、清らかな空気に癒される。1900年を超える歴史ある社は、本宮に皇位継承のみしるしとして代々受け継がれる三種の神器のひとつ、草薙神剣を祀り、年間の参拝者数は700万人を数えるそうだ。

拝殿から一番奥に見える本殿に、御神体が鎮座してい

る。今日は一般の方の結婚式が予定されていて、巫女さんがあわただしく清掃をしている。また、婚礼の撮影を依頼された業者が、早くからカメラを設置して撮影の準備をしていた。本宮に参拝後信長塀や、樹齢1000年の大楠を見ながら駐車場に戻る。ここから豊川稲荷へ向かう予定だったが、雨が強いので皆さんと相談し豊川稲荷参拝は止めて岡崎SAでお土産を買うことにする。伊勢湾岸自動車道から新東名高速を走り、岡崎SAに着きお土産を買う。

岡崎SAは大きなサービスエリアで、近県の名産品など何でもそろっている。お伊勢参りで買えなかった「赤福」やういろう、きしめんなどをゲットして焼津さかなセンターへ向かう。静岡県に入ると雨が上がったが、焼津おさかなセンターに着くとまた雨が降ってきた。急いでセンター内に入り、まずは人気の海鮮丼の店に行く。順番表に名前を記入し、少し待つとテーブルへ案内される。まだお昼前なので、お客さんはそれほど多くないようだ。皆さん人気のマグロ3色丼をオーダーし、運転手は寿司3貫盛をオーダーする。



マグロ3色丼は、大トロ、中トロ、赤味の3種のマグロが贅沢に載り、今までで一番美味しくいただいた。皆さんも格別に美味しかったようで、全員完食し大満足の様子だった。

マグロ丼を堪能したらお買い物にいざ出陣！！マグロの刺身やカマ焼き、アジやサバの干物、しらす等々、好きな物をゲットし大きなレジ袋をぶら下げて車に戻る。

ここからは東名高速道に乗って、一路岩舟支所に向かって走る。

雨も上がり、渋滞も無くスムーズに走り、岩舟支所に16時に着きお土産の魚が夕食に間に合った。

3日間の旅だったが、数十年ぶりのお伊勢参りが出来て、念願の岐阜城と犬山城、名古屋城を見学出来、グルメ三昧に大満足の充実した旅となった。